

愛知県教育委員会から

# 高大連携 高校生防災教育推進事業

## 「高校生防災セミナー」

東海地震及び東南海・南海地震の発生時には甚大な被害が想定されているところですが、地震による被害ばかりでなく、近年はこの地方でも平成20年8月末豪雨による災害などで尊い命が失われたように、全国各地で豪雨災害による被害が発生しております。こうした状況の中、本年度、県教育委員会と名古屋大学は県防災局とも連携して、高校生を対象に自然災害に対する知識や技術の習得などによって防災対応能力の向上と、災害時に積極的にボランティア活動に参加しようとする心を育て、学校や地域の防災力向上に貢献できるリーダーの育成を目的に「高校生防災セミナー」を開催しました。

今年度のセミナーは、名古屋大学を会場に、平成22年7月26日・27日、8月9日・23日、12月24日の計5日間の日程で実施しました。

《参加15校》愛知教育大学附属（国立）、菊里（名古屋市長立）、修文女子（私立）、愛知工業、昭和、高蔵寺、小牧工業、一宮西、稲沢東、半田、衣台、岩津、安城南、豊丘、御津（以上、県立）

このセミナーの内容は大きく3つの流れから成り立っています。まず、専門知識の習得や、災害対策のイメージトレーニング、被災者からの体験談などを聞く「学び」。次に、その学びを通して、セミナーの内容を学校や地域に普及させる「実践」。そして活動した成果の「報告」です。活動成果を、2年目の活動につなげ、防災教育の更なる充実を図っていくことを考えております。



【県教育委員会と名古屋大学の調印式】



【講義・名大 福和教授】



【演習・DIG(災害図上訓練)】



【講義風景】



【実践計画の発表】



【集合写真】

### 防災クイズ

**DONETのプロジェクトで平成22年度末までに東南海地震震源に海底ケーブルで接続された観測点は何箇所でしょう？**（ヒント：答えは記事のどこかにあります）

**応募要領** ハガキに①クイズの答え②氏名③年齢④性別⑤郵便番号⑥住所⑦電話番号⑧あいち防災通信をどこでご覧になったか？⑨ご意見・ご感想を明記の上、〒460-8501(住所記載不要) 愛知県防災局防災危機管理課「あいち防災通信防災クイズ係」までお送りください。（締切：平成23年3月4日(金)当日消印有効）

**正解者の中から抽選で15名様に、災害が起きたとき避難に利用できる「ソーラーLEDライト」をプレゼント**します。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。※いただいた情報は、より良い誌面作りのための集計分析にのみ使用します。



ソーラーLEDライト

### 自主防災会紹介

#### ～豊橋市岩田校区中岩田二区自主防災会～



9月5日 町内運動会～担架搬送リレー

中岩田二区自主防災会は、豊橋市が認定した、とよはし防災リーダーの方々や活動の中心となつて、地域の防災力強化に取り組んでいます。最近の主な取り組みとしては、平成22年3月の自治会総会で東海・東南海地震対策を中心とした防災講話と自宅周辺の防災防犯についての課題討論を、9月5日(日)の町内運動会で、けが人の担架搬送リレーやバケツリレーなどの防災競技を送り届けています。

また、「防災たより」を3か月毎に発行しており、昨年度の防災訓練の際に参加者アンケートを行い、住民の防災意識を調査する等、積極的に取り組んでいます。なお、アンケートの結果及び、活動の詳細については、愛知県防災局ホームページで紹介しています。

今回投稿いただいた中岩田二区自主防災会様へは、地震防災に関する様々な知識を学ぶことのできるDVD「あいちどうするぞうなる前の防災対策」をお送りしました。今後も応募いただいた自主防災会の取組みをご紹介していく予定です。自主防災会からの積極的な応募をお待ちしております。

（[http://www.pref.aichi.jp/bousai/zisyubou\\_shoukai/index.html](http://www.pref.aichi.jp/bousai/zisyubou_shoukai/index.html)）

### あいち防災協働 社会推進協議会から

トヨタ災害Vネット 鈴木 隆宏さんインタビュー



今回は、トヨタグループ災害ボランティアネットワーク(以下トヨタ災害Vネット)代表である鈴木 隆宏さんにお話を伺います。まず、トヨタ災害Vネットとは、どのような団体ですか。

「トヨタ災害Vネットの防災に対する取り組みを教えてください。」

トヨタ災害Vネットは、平成15年に立ち上げました。現在の登録者は835人を数え、日頃から様々な研修を実施し、災害に備えています。

「被災した愛知県に阪神淡路大震災のように全国からボランティアが応援に来てくれるだろうか?」「地元は地元で助け合うしかない?」。県内のトヨタグループ企業(14社)が連携し企業の強みを活かして災害時のボランティアが的確に対応できるように、平成15年に立ち上げました。現在の登録者は835人を数え、日頃から様々な研修を実施し、災害に備えています。

「地震に備えて、1人ひとりが心がけておくべきことは何だと思いませんか?」

被災された方のほとんどが「まさか、こんな事になるとは...」と言われます。過去に痛い目にあってない方は危機感がない?3連動地震がどんなものか想像もつかないと思いますが、想像をはかるに超える、とてつもない大地震であることだけは間違いない。とにかく危機感をもって万全に備え「自分は被災者にならない!」こと。自分の住んでいる地盤、家屋をしっかりと確認(耐震)し、家具固定&ガラス飛散防止対策、そして最低3日間の食料&水を確保することが大切です。そしていざという時は、隣近所の助け合いしかありません。日頃から隣近所とのコミュニケーションを大切にしたい。ただきたいと思えます。